

SSL アプライアンスでの SNMP の設定

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[要件](#)

[設定](#)

概要

SSL アプライアンスで Simple Network Management Protocol (SNMP) を有効にすることができます。SSL アプライアンス モデル 1500、2000、および 8200 は、標準の SNMP MIB2 テーブルをサポートし、プロトコルの SNMP v2c バージョンを使用します。このドキュメントでは、SSL アプライアンスで SNMP を有効にするための手順を示します。

前提条件

使用するコンポーネント

このドキュメントでは、次のコンポーネントを使用しています。

- SSL アプライアンス 1500、2000、8200
- ソフトウェア バージョン 3.6 以降

Requirement

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

設定

SSL アプライアンスで SNMP を設定するには、アプライアンスの Web ユーザ インターフェイスを使用します。手順は次のとおりです。

1. [Platform Management] メニューに移動し、[Management Network] を選択します。

注: プラットフォーム管理メニューには、SSL アプライアンスのホスト名が表示されます。
この例では、ホスト名は cisco です。

2. 鉛筆アイコンをクリックして設定を編集します。[Edit Management Network] ウィンドウが表示されます。
3. 該当するフィールドに入力し、SNMP を有効にして、SNMP 管理システムに適切な SNMP パラメータを設定します。[OK] をクリックします。
4. プラットフォーム設定の変更を適用します。